



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和 2年 4月30日

あったかい時間をご家庭で…

校長 菅原 透



ゴールデンウィークが始まります。例年であれば、楽しい思い出がいっぱいできる期間ですが、今年はまだまだ自粛が必要です。“GがまんWウィーク”と読み替えてこの国難をみんなで乗り切りましょう。子ども達がいらない学校は寂しい限り…。一刻も早く、笑顔と歓声が戻ってきてほしいと願っています。

先週、保護者の皆様から学校へ、担任からご家庭へ課題等のポスティングを行いました。保護者の皆様には、平日の、しかも日中に学校へお届けいただきました。お勤めがあることを重々承知のうえでのお願いでしたが、それこそ万障繰り合わせてお力添えいただきました。感謝です。何人かの子ども達にも会うことができました。ニコニコ笑顔で車の窓を開けてくれたので思わずタッチ！（すみません“接”です…）あるお家の方からは「校長先生もお元気そうで」と優しく声をかけていただきました。アイコンタクトあり、ボディコンタクトあり、ヴォイスコンタクトありで心の交流、これこそ「四かけ人」でしょうか。短い交わりでも心のエネルギーが満たされ、モチベーションも高まりました。今、主役達は、家庭が居場所になっています。学校に通わないという未知の領域を歩み続けていますが、お家の皆様のあったかいかかわりで、しっかり支えていただいているのですね。重ねて感謝いたします。もう少しの期間、よろしくご面倒してください。

“うばい合えば 足りぬ
わけ合えば あまる”

これは、相田みつをさんの言葉です。自分の思いを優先し、外に求めるのが人の常。それぞれが自らの思いだけで動くのであれば、要求の幅は膨れ上がり、まとまらなかったり、対応できなかつたりして、不満ばかりが残ることになります。しかし、相手を想い、折り合いをつけることを心がければ、それぞれが納得し、みんな笑顔になれる…。今回の保護者の皆様からのポスティングも、いろんな不都合があったはずなのに、しっかりと動いてくださいました。大変な時ほど、力と知恵を出し合い、分け合って、みんなで生きることを大切にしたいものです。もうひとつ、みつをさんの言葉を…。

“あなたがそこにただいるだけで、
その場の空気が明るくなる。
あなたがそこにただいるだけで、
みんなの心がやすらぐ。
そんなあなたに私もなりたい。”

みんなが“そんなあなた”になれたらいいなあ。家族一人ひとりが“そこにただいるだけ”でも、家族みんなが“わけ合えば”、“その場の空気が明るく”なり、“みんなの心がやすらぐ”はず…。お家にいる時間が長い今こそ、あったかい時間をそれぞれの家庭でお過ごしください。



気軽にできるあいうえお体操を裏面に紹介しています。体が柔らかくなる魔法もありますよ！